

手形法・小切手法 開講にあたって

担当者：伊藤靖史 (mail : yaito@mail.doshisha.ac.jp)

1. 受講上の注意

- ・ ネット配信授業（音声ファイルと資料をオンデマンド配信）
- ・ 質問は随時受け付ける（e-class メッセージでもよいし、上記アドレスまでメールを送信してもよい。メッセージには件名を記し、本文に自分の氏名と学籍番号を記すこと）
- ・ 最新版の六法を参照しながら受講すること

2. 成績評価——期末試験 100%（予定）

3. プリント

- ・ e-class で資料（レジュメその他の配布資料・講義音声）の URL を示す
- ・ 通常の講義よりは説明の繰り返しを減らす予定→適宜一時停止するか、繰り返すこと

*プリントでの法令条文、裁判例の略称など

手形法→手、小切手法→小 商法→商 民法→民 など（有斐閣の六法の略語に従う）

法令名の後、条数＝算用数字、項数＝ローマ数字、号数＝丸囲み数字

例) 手形法 16 条 1 項第 1 文→手 16 I 第 1 文

手形法 16 条 2 項ただし書→手 16 II 但

裁判例

例) 最高裁判所平成 16 年 6 月 10 日判決民集 58 卷 5 号 1178 頁

→最判平 16・6・10 民集 58-5-1178

4. 文献

- ・ テキスト：早川徹『基本講義手形・小切手法〔第 2 版〕』（新世社、2018 年）
- ・ 参考文献：森本滋編著『手形法小切手法講義〔第 2 版〕』（成文堂、2010 年）
神田秀樹＝神作裕之編『手形小切手判例百選〔第 7 版〕』（有斐閣、2014 年）

*役に立つパンフレットとして

全国銀行協会『動物たちと学ぶ手形・小切手のはなし』（2012 年）

<https://www.zenginkyo.or.jp/education/free-publication/pamph/pamph-04b/>

株式会社全銀電子債権ネットワーク『でんさいネットの仕組みと実務』（2016）

<https://www.densai.net/pamphlet>

5.情報公開——HP「伊藤研究室」 <http://www1.doshisha.ac.jp/~yaito/>

- ・講義の細目次、テキスト・参考文献の該当箇所
- ・終了済み講義のプリントのダウンロードはこちらからでもできるようにする予定
- ・過去の試験問題・解答

6.講義計画

A.手形法・小切手法の基礎

1. 手形・小切手の基礎
2. 手形・小切手と銀行取引

B.約束手形

3. 振出
4. 裏書
5. 支払と遡求
6. 善意取得と手形抗弁
7. 特殊の裏書
8. 手形行為の成立
9. 手形行為の有効要件
10. 他人による手形行為、偽造・変造
11. 白地手形
12. 手形の時効等

C.その他の手形等

13. 小切手と為替手形
14. 電子記録債権

*特に講義の後半については、順序等を変更する可能性がある